



月刊喜界島ジオパーク令和7年9月号

喜界島ジオパーク推進協議会事務局員 土屋純子

ついに現地調査！

〜日本ジオパーク認定に向けて〜



8月24日から28日にかけて、喜界島で日本ジオパーク認定に向けた現地調査が行われました。喜界島には日本ジオパーク委員会の3名の調査員が来島し、喜界島の自然や文化を実際に見ていただきました。

今回の現地調査は、これまで準備を進めてきた中での大きな節目となるものです。「どこを見てもらうか」「島の魅力をどう伝えようか」「今までやってきたことをどう伝えようか」と、事務局では何度も議論を重ね、喜界島サング礁科学研究所と共に、ガイドの皆さん、役場職員、評議委員、プロジェクトチーム員など、たくさんの皆さんの協力を得ながら、調査に臨みました。調査員の方々には、厳選したジオサイトを案内し、島の成り立ちや自然環境、人々の暮らしとのつながりを見ていただきました。

また、調査の過程では、「島に住んでいると気が付きにくい視点」や「専門家としての視点」から貴重なご意見やアドバイスをいただきました。私たちにとっても新たな学びの機会となりました。そして、途中で偶然お会いした島の方々とお話をしたり、喜界島全体で調査員の皆さんを迎えることができたと感じています。

最終日には、調査員の方々に「喜界ターン」でお見送りしました。「次に来た時には海に入っていたらいい、島

唄を聴いて、そして一緒に踊っていたきたいな」と思いながら、また来ていただけることを楽しみにお見送りしました。日本ジオパークに認定されるかの結果は、10月に発表される予定です。それまでドキドキです。



喜界島ジオパーク（構想）パンフレットが完成しました！

このたび、喜界島ジオパーク（構想）のパンフレットが完成しました。読んだ方が「実際に喜界島に行ってみたい！」と思えるような内容を目指して作成しました。

制作にあたっては、ジオデザイナーのササオカミホさんと喜界島サング礁科学研究所の皆さんと共にアイデアを出し合い、学術顧問の松田博貴先生、佐々木圭一先生の監修とアドバイスを受け、正確さを保ちつつも、地質や地形に詳しくない方にも分かりやすく伝えるよう工夫しました。真剣な議論の中に、和気あいあいとした雰囲気の中で仕上げたパンフレットです。ぜひ手に取って、喜界島の成り立ちや魅力に触れてみてください。

【パンフレット配布場所】役場企画観光課、喜界島サング礁科学研究所、喜界町埋蔵文化財センター、中央公民館

